

在ブラジルの岡村淳監督が再来日！ 農伝で上映会



画：森 一浩

2026年3月2日(月)

16:30～(上映) 受付 16時より

終映後、岡村淳さんのトーク・質疑応答

終了予定 19:00

終了解散後、監督を囲む懇親会を予定します。

会場 農村伝道神学校 (裏面地図)

(東京都町田市野津田町 2024)

※小田急線鶴川駅からバス 15分徒歩 7分

主催 岡村淳監督作品上映実行委員会

協力 農村伝道神学校

上映作品『消えた炭鉱離職者を追って アマゾン編』(撮影 1999年 編集 2026年／75分)

制作・構成・撮影・編集・報告/岡村 淳

戦後の日本のエネルギー政策に翻弄されて、数千家族の炭鉱離職者が南米に農業移民として送り出されていた。その足跡を追った記録文学者の上野英信を師と仰ぐ筑豊の福吉伝道所の犬養光博牧師夫妻は、サンパウロ福音教会の招きでブラジルに渡った。サンパウロ、リオデジャネイロを経てアマゾン地方でようやく上野の取材した人びとと念願の対面がかなうが、思わぬ話を聞くことになる。失意のなかアマゾン最古の日本人移住地、トメアスーを訪れた犬養牧師は、現地の無縁墓地で証しを行ない、最後に土地なき農民たちとの出会いが待っていた。

上映作品『里山の冬の華 東京町田・野津田公園湿生植物園』(撮影 2025年1月 編集 2025年3月／13分45秒) 制作・構成・撮影・編集・報告/岡村 淳

町田の農村伝道神学校に隣接する野津田公園には、都内で有数の湿生植物園がある。雑木林に覆われた丘陵を刻む谷の湧水が注ぐ動植物のサンクチュアリだ。冬枯れの季節のわずかな時期に、湿地で展開する自然の大スペクタクルを紹介する。植物園は行政による破壊の危機が迫っていた。

参加費 カンパ制 (当日配布する封筒にカンパを入れてください)

申し込み <https://forms.gle/3ZQGWFLTWCp7BUe29> QRコード



メール kouenkai@noden.ac.jp TEL 090-2215-8540(上映会) FAX 042-735-5711

岡村 淳 (おかむら じゅん) 監督 プロフィール

記録映像作家、1958年生まれ、東京都目黒区出身。早稲田大学で考古学を学び、現代に残る縄文文化の痕跡を探る。日本映像記録センター入社、『すばらしい世界旅行』(日本テレビ系列)などの番組ディレクターを担当。1987年、フリーとなりブラジルに移住。小型カメラ使用の単独取材のドキュメンタリー自主制作を開始。著書に『忘れられない日本人移民 ブラジルへ渡った記録映像作家の旅』(日本図書館協会推薦図書)。



◀ 『里山の冬の華 東京町田・野津田公園湿生植物園』

1999年、犬養光博牧師
アマゾン河支流の船着き場にて▶

